

■道路防災週間の啓蒙活動の一環として、平成12年8月30日にホテルポールスター札幌にて当センター・道路防災エキスパート事務局主催の「平成12年度道路防災講演会」を開催しました。講演会の内容は、建設省道路局の谷口博昭企画課長による「道路事業をめぐる最近の話題」、長崎大学工学部の高橋和雄教授による「火山災害と道路～雲仙火山災害の教訓～」で、聴講者が400名を越えるという大盛況でした。講演内容については、後日当センターから発刊予定です。



平成12年度 道路防災講演会

■当センターは、平成2年6月14日に北海道知事から財団の設立許可を受け、今年で設立10周年を迎えました。そこで平成12年11月17日、センチュリーロイヤルホテルにおいて、産官学より約240名の出席をいただき、ささやかに記念式典を行いました。また引き続き、国際日本文化研究センターの木村 汎教授による「ブーチン・ロシアはどこへ行くのか?」と題する記念講演会を行いました。その後の祝賀会では、木元理事長から設立当時の苦労話を交えた挨拶があり、初代会長倉橋力雄様のご発声で乾杯をいたしました。出席者の皆様からは心温まる数々のお祝いの言葉をいただきました。ここにあらためて御礼申し上げます。当センター職員一同は、この10年をひとつの区切りとし、センターの今後ますますの発展に心を新たに精進して参りたいと思います。関係各位におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



当センター設立10周年記念式典における木村先生の記念講演

編集後記 From Editorial Room

- 第8号の特集テーマを考えながら思いました。最近、「アカウントビリティ(説明責任)」という視点から、道路整備の必要性を論ずる時、「整備効果」、「費用効果」等の指標の数値化が強く求められていますが、道を通る人々の思い出作りにお役に立てる「記憶に残るみちづくり」という視点も頭の片隅にあっても良いのではないのでしょうか。(NS)
- 第8号は、社会基盤として道路の持つ多様な面から「みちの空間利用」の特集を組みました。まだ、いろいろな課題はあり

ますが、道のライフサイクルの各プロセスにおいて、地域の特色やニーズを生かし、利用者が参加できる取り組みへの参考となればと期待しています。(F.T)

- 「北の道路は名俳優」…素敵企画でしょ。私たちが作ってきた道も、心に残る道はたくさんあるはずですよ。みなさん、たくさん映画を見ましょう。そして、感性を磨きましょう。(途中参加のY.T)

「北の交差点」とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。「北の交差点」というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出をめざして、維持・管理に関する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点® VOL.8

- 2000年12月発行
- 編集・発行/財団法人北海道道路管理技術センター
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目 東京建物札幌ビル6F
TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578
- 制作・印刷/株式会社須田製版